

## 二柱式橋脚の設計計算

プログラム価格  
¥380,000

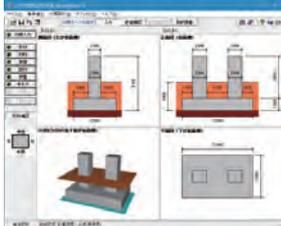
はり無し二柱式モデルに対応した  
設計計算プログラム

Windows 7/8/10 対応  
電子納品 3D PDF  
有償セミナー

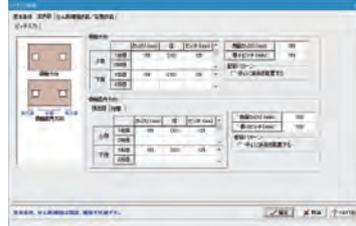
橋脚の設計をベースに、はり無し二柱式モデルに対応した設計計算プログラムです。新設・既設・補強設計が可能で、基礎製品との連動及び安定計算及び柱・フーチングの部材設計に対応しています。

- 柱平面形状：矩形、小判形、円形
- 基礎形式：直接基礎、杭基礎
- 常時、レベル1地震時の安定計算（杭基礎時は連動により対応）
- 常時、レベル1地震時の許容応力度法による柱部材の照査
- レベル2地震時の保有水平耐力法による柱部材の照査
- 常時、レベル1地震時の許容応力度法によるフーチング部材の照査
- レベル2地震時の保有水平耐力法によるフーチング部材の照査
- データ連携：「基礎の設計計算」との連動設計、Engineer's Studio®データファイルのエクスポートが可能

▼メイン画面



▼フーチング鉄筋画面



## 二柱式橋脚の設計計算 (部分係数法・H29道示対応) NEW

プログラム価格  
¥380,000

H29道路橋示方書に準拠した  
二柱式橋脚の設計計算プログラム

Windows 7/8/10 対応  
電子納品 3D PDF  
有償セミナー

本版では、平成29年11月に発刊された『道路橋示方書・同解説』に対応しています。

### 【H29道示改訂での橋脚の設計に関連する主な項目】

- 部分係数の導入（従来の割増係数を考慮した許容応力度の廃止、応力度の制限値として規定）
- 耐荷性能に関する部材の設計（限界状態に応じた照査項目）
- 耐久性に関する部材の設計（内部鋼材の防食、部材の疲労）

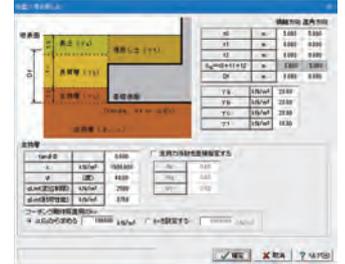
### 【他製品との連動】

- 「震度算出(支承設計)(部分係数法・H29道示対応)」の設計水平震度と連動。
- 「基礎の設計・3D配筋(部分係数法・H29道示対応)」の基礎の照査と連動。

▼調査・解析、部材・構造、抵抗係数入力画面



▼地盤/埋め戻し土入力画面



## ラーメン橋脚の設計・3D配筋 (部分係数法・H29道示対応) Ver.2

プログラム価格  
¥550,000

H29道路橋示方書に準拠した  
ラーメン式橋脚の設計計算、図面作成

Windows 7/8/10 対応  
電子納品 SXF3.1  
IFC 3D PDF  
有償セミナー

本版では、平成29年11月に発刊された『道路橋示方書・同解説』に対応しています。

- 荷重ケース：基本荷重ケースを元に自動的に組合せケースを作成し、組合せケースの種類に応じて自動的に  $\gamma_p$ 、 $\gamma_q$  を設定
- 永続／変動作用支配状況に対する照査：曲げモーメントに対する照査、せん断力に対する照査、ねじりモーメントに対する照査、および端接合部の照査
- レベル2地震動照査：橋の重要度区分と破壊形態に応じて、満たすべき限界状態を判断し、照査

### 適用基準

1. 道路橋示方書・同解説 I 共通編 H29年11月 日本道路協会
2. 道路橋示方書・同解説 III コンクリート橋・コンクリート部材編 H29年11月 日本道路協会
3. 道路橋示方書・同解説 IV 下部構造編 H29年11月 日本道路協会
4. 道路橋示方書・同解説 V 耐震設計編 H29年11月 日本道路協会

### Ver.2 改訂内容

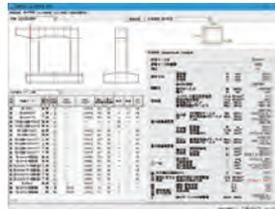
2018年1月31日リリース

1. 平成29年11月 道路橋示方書・同解説対応
2. はりのコーベルとしての照査に対応
3. 杭頭接合部、負の周囲摩擦力の照査に対応

### ▼上部工基本荷重ケース



### ▼永続／変動作用支配状況の照査結果画面



## RC下部工の設計・3D配筋 (部分係数法・H29道示対応) NEW

プログラム価格  
¥810,000

H29道路橋示方書に準拠

Windows 7/8/10 対応  
電子納品 SXF3.1  
IFC 3D PDF  
有償セミナー

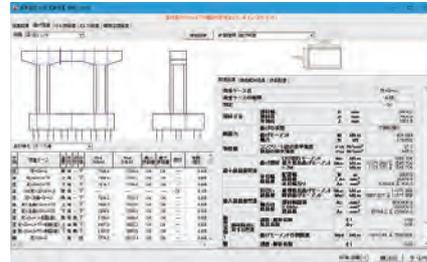
本版では、平成29年11月に発刊された『道路橋示方書・同解説』に対応しています。

- 荷重ケース：基本荷重を組み合わせ、自動的に永続／変動作用支配状況の組合せ作用ケースを作成
- 基本荷重の種類に応じて、荷重係数  $\gamma_q$  を乗じ、組合せ作用ケースの分類に応じて組合せ荷重係数  $\gamma_p$  を乗じる
- 永続／変動作用支配状況に対する照査：曲げ、せん断に対する耐荷性能、耐久性の照査、道示IV5.2に準拠した最小鉄筋量、最大鉄筋量の照査を行う
- レベル2地震動照査：ラーメン式橋脚、単柱式橋脚に対して、平成29年道路橋示方書に準拠した地震時保有水平耐力照査を行う

### 【他製品との連動】

- 「ラーメン式橋脚、単柱式橋脚、橋台：安定計算、部材計算、耐震照査、補強設計
- BOXカルバート：安定計算、部材計算（EQ無）
- 擁壁：安定計算、部材計算

▼ラーメン式橋脚の躯体の永続／変動作用支配状況の照査結果画面



▼単柱式橋脚のレベル2地震動照査（保耐法照査）結果画面

